

町田市

農業委員会だより

発行・編集：町田市農業委員会・農業委員会だより編集委員会

町田市森野2-2-22 Tel: 042-724-2169

第64回東京都農業委員会・農業者大会受賞者紹介

2023年2月16日（木）に第64回東京都農業委員会・農業者大会が開催され、市内の農業者の方が表彰を受けられました。受賞された方をご紹介します。

【企業的農業経営顕彰受賞】

＜全国農業会議所会長賞・東京都農業会議会長賞＞

大塚 和一郎 様（町田市広袴町）

端境期対策として施設の導入を図り、周年供給される多品目の野菜を、JAの共同直売所や地元スーパーへ出荷されています。

また、市で行われる農産物品評会や営農技術競技会では数々の賞を受賞されています。JA町田市青壮年部会長を務めるなど、地域での信頼も厚く、品質が高く鮮度が良い野菜を供給し、購入者に高い満足感を与えていることが評価されました。



また、同日、農業委員会事務局職員、萩原直樹農務担当係長が長年の農業委員会事務への貢献を称え

【農業委員会等功労者表彰】を受賞されました。

皆様おめでとうございます。
今後のご活躍を期待いたします。

【第25期統一の農業委員会活動スローガン決定！】

壇上に掲げられた6つのスローガンのうち
3つについて、町田市農業委員会3名の提案が採用されました。



2023年度町田市農業委員会活動指針

- I 農地の保全に向けた取り組み
- II 農地利用最適化の推進
- III 農業振興施策の推進
- IV 情報活動の推進
- V 農業と市民との架け橋活動
- VI 最適化活動の推進

東京都農業会議における「令和5年度農業委員会活動推進要領」を基本に町田市農業振興計画の趣旨に基づき、農地の保全および利活用を進めるため、左記の活動指針を展開します。

農業委員会と認定農業者との意見交換会

2月6日に農業委員会と認定農業者との意見交換会を3年ぶりに実施しました。意見交換会では、農地の貸借や獣害に関する質問から、町田市が実施した物価高騰対策農業者支援に対する感謝など、様々なご意見を認定農業者から頂戴し、大変実りのある会となりました。

また、意見交換会の前には、認定農業者連絡協議会学習会が開催され、「町田市の学校給食における取り組みについて」、市職員の草柳氏から説明を受け、大変参考になりました。



今年度も米作り農業体験が始まりました！



↑参加市民が田植えした忠生公園内
田んぼの様子（昨年8月）

4月26日～28日に今年度も米作り農業体験の募集が行われました。町田市の米作り農業体験は1993年の全国的な米の不作を契機に、町田市農業委員会・JA町田市により町田市米作り農業実行委員会をつくり、1994年から30年間続いている活動です。

5月には参加市民と一緒に田植えを行い、7月に草取り、9月に稲刈り、そして11月には収穫したお米をつかったもちつき等のイベントを行う収穫祭を予定しています。今年度も市民の皆様に楽しみながら『農』の魅力を伝えていけるよう計画して参ります。

特定生産緑地の申請をお忘れなく！

1995（平成7）年、1996（平成8）年指定の生産緑地をお持ちの方に、9月頃に申請書類が土地利用調整課より送られてきます。1995（平成7）年指定の生産緑地は2023年度申請が最終の受付になりますので、特定生産緑地に移行をご希望の方は申請をしてください。特に相続税の納税猶予の適用を受けられている方におかれましては、終身営農の義務が継続するため、営農を継続していても特定生産緑地の指定を受けなければ、固定資産税が5年間で段階的に宅地並みの課税に上がってしまいます。また、次の相続の際に納税猶予を受けられなくなりますので、ご注意ください。

なお、特定生産緑地に限らず、管理が十分ではないと思われる生産緑地については、6月に現地調査に伺うことがありますので、適正な管理をお願いいたします。

【お問い合わせ】 町田市都市づくり部土地利用調整課 電話：042-724-4254

農地を相続したら、農業委員会に必ず届出をしてください！

農地を相続した場合は、法務局で登記申請したのちに、農業委員会に届出を提出することが必要ですので、お忘れなようご注意ください。

農業振興課からのお知らせ

市民農園・収穫体験農園・農業体験農園
を開設されている皆様へ
🍎町田市HPで集客PRをしませんか

町田市HPでは、市民農園・収穫体験農園・農業体験農園をご紹介します。掲載をご希望の方は、お気軽に農業振興課までご連絡ください。市民農園・収穫体験農園・農業体験農園については町田市HPへアクセス→



町田市農業研修場12期生の 修了式が行われました。

2月12日に町田市農業研修修了式が行われ、11人の修了生のうち、7人が出席されました。今後は援農ボランティアもしくは新規就農者としての活躍が期待されております。修了生の皆様に暖かいご声援を何卒よろしくお願いいたします。



＜参加者募集＞

町田市農業祭営農技術競技会（立毛審査）

◎立毛審査とは

市内農家の畑やビニールハウスで行う収穫・出荷前の農産物のコンテストです。

◎日程・応募スケジュール

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、実施品目や日程を決定します。

詳細につきましては、市HP等でお知らせします。

町田の農業に関する情報誌 「まち☆ベジ BOOK 大地のごちそう」 を発行しました！

“町田の農業にワクワクしてもらおう”をコンセプトに、4つのカテゴリでまち☆ベジの紹介をしています。市内公共施設や各JA町田市アグリハウス等で配布しているほか、市HPで電子データを閲覧できます。

まち☆ベジ BOOK については
町田市HPへアクセス→



「まち☆ベジ BOOK 大地のごちそう」表紙↑

【お問い合わせ】町田市経済観光部農業振興課

電話：042-724-2166

農地の適正な管理をお願いします！

● 農地を所有している方は、農地を適正に利用する「責務」があります

農地法第1条には「農地は国民のための限られた資源であり、かつ地域における貴重な資源」であることが明記され、農地を所有している方は（農地を借りている方も含む）、「農地を適正かつ効率的に利用しなくてはならない責務」があると農地法第2条の2に規定されています。

● 農地とは

農地法第2条に『農地』とは、耕作の用に供される土地』と規定されています。

● 適正な作付けをお願いします

雑草が繁茂していると、病虫害の原因となるほか、周辺の農地や生活環境に悪影響を及ぼす場合があります。肥培管理を適切に行い、いつでも作付けできる状態を維持するとともに、適正な作付けをお願いします。



【お問い合わせ】町田市農業委員会事務局

電話：042-724-2169

農業委員会事務局からのお知らせ

農地利用状況調査（農地パトロール）を実施します！

農業委員会では、農地法30条に基づき、農地の保全管理の徹底と利用促進を図るため、7月から8月にかけて市街化調整区域農地を対象に農地利用状況調査（農地パトロール）を実施します。

パトロールの結果、改善が必要とされた農地については、肥培管理の指導や、今後の農地利用に関する意向調査を実施させていただきます。ご自身で耕作できない方は、農地を貸借することもできますので、農業委員会事務局にご相談ください。

なお、農地利用状況調査（農地パトロール）は、農業委員、農地利用最適化推進委員及び農業委員会事務局職員が実施しますのでご協力をお願いします。

野焼きの原則禁止にご協力をお願いいたします！

農業を営むためのやむを得ない場合を除き、廃棄物を焼却する「野焼き」は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により原則禁止されています。やむを得ず焼却する場合は消防へ連絡してから、近隣への生活環境に影響を及ぼさないように注意して行ってください。ご理解、ご協力をお願いいたします。

熱中症対策はされていますか？

今年も暑い夏が予想されます。農作業をされる際は、熱中症予防に以下の点を心がけるようお願いします。

- 水分・塩分補給…喉が渇いていなくてもこまめに水分及び塩分を補給するようにしましょう。
- こまめな休憩…日陰になる場所など、できる限り涼しい場所で適宜休憩をしましょう。
- 天気予報と体調…急に暑くなる日は要注意です。体調不良時はムリをしないでください。
- 服装…帽子で日差しを遮り、できる限り熱を逃がしやすい服装にするようにしてください。
- 安全な作業環境…作業はできるだけ2人以上で、暑いハウスの中は風通しを良くしましょう。

農業委員会事務局の新体制（4月1日付け）

- 農業委員会事務局長（経済観光部北部・農政担当部長） 粕川 秀人
- 農業委員会事務局課長（経済観光部農業振興課長） 杉山 祐介
- 農業委員会事務局係長 萩原 直樹
- 農業委員会事務局係長 東泉 英夫
- 農業委員会事務局主任 神戸 陽平
- 農業委員会事務局主事 勝田 祐斗
- 農業委員会事務局主事 北原 紘子

農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は加入者・受給者数に左右されにくい積立方式での公的年金です。支払う保険料の全額が社会保険料控除の対象となり、節税の面からも有利です。農業者の皆さま、ぜひご加入ください。

全国農業新聞を読みませんか？

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である、農業委員会系統組織の全国農業会議所が発行する農業総合専門紙です。

★ 購読料 月700円 ★ 発行日 毎週金曜日

編集後記

27期の町田市農業委員会活動を始め、1年が経ちました。昨年度も無事に親子での米作り体験、わら細工作りなどのイベントを行う事ができました。

一方、原材料価格の高騰や原油高で、生産者の方々の苦勞・苦心の日々が続いている事と思います。それに加えて、円安による日用品や食料品等の値上げに、改めて自国生産・地産地消の重要性を感じる年となりました。

今年度も町田市の「農」の大切さを感じながら、農業者の皆様のお力となる情報の掲載・活動を行っていきたいと思います。

【編集委員長】山下 【編集副委員長】井上 【編集委員】吉川、横田、矢沢、本橋、臼井

農業委員会事務局 TEL 042-724-2169 経済観光部農業振興課 TEL 042-724-2166